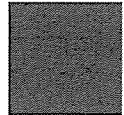


様式第1号（第2条関係）

令和5年9月30日

恵那市長
小坂 喬 峰 様
(恵那市議会議長経由)

恵那市議会議員 町野 道明



交付請求書

恵那市議会政務活動費の交付に関する条例第5条の規定により、下記のとおり請求します。

記

政務活動費請求金額 43,092 円

ただし、 令和5年 4月分 ～ 令和5年 9月分



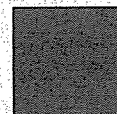
様式第2号（第2条関係）

令和5年9月30日

恵那市議会議長

千藤 安雄 様

恵那市議会議員 町野 道明



収支報告書

恵那市議会政務活動費の交付に関する条例第5条の規定により、令和5年4月分～令和5年9月分に係る政務活動費収支報告書を提出します。

記

1 収 入

政務活動費 43,092 円

2 支 出

単位：円

項 目	支 出 額	備 考
調 査 研 究 費	43,092	視察費等
研 修 費		
広 報 費		
広 聴 費		
要請・陳情活動費		
会 議 費		
資 料 作 成 費		
資 料 購 入 費		
合 計	43,092	

様式第 3 号(手引き第 4 章関係)

(本人作成書類)

令和 5 年度 恵那市議会政務活動費会計帳簿

議員名 町野 道明

(令和 5 年 4 月 1 日から令和 5 年 9 月 3 0 日まで)

単位 (円) 【 1 - 1 】

日付	整理番号	条例別表 の項目名	摘 要	領収額	政務活動費 充当額	支出可能額 (残)
5 16	1	調査研究費	5/16 宿泊代	12,460	6,300	113,700
5 17	1	調査研究費	5/17 宿泊代	7,200	7,200	106,500
5 31	2	調査研究費	5/16-18 バス代金等	29,592	29,592	76,908
合計				49,252	43,092	

注 この会計帳簿に記載する整理番号及び政務活動費充当額は、領収書貼付用紙の記載した整理番号及び政務活動費充当額と一致する。

様式第5号（第5条関係）

領収書貼付用紙

年 度	令和5年度	項 目	調査研究費		
整 理 番 号	2	議員名	町野 道明		
支出の按分の状況	(按分の内容) 視察研修にかかる交通費として、貸し切りバス代を 人数割りした領収証を徴収。一人あたり 29,592 円。				
	(按分率) 100%	(政務活動費充当額) 29,592 円			
領収書の補足説明	5月16日～5月18日行政視察における貸し切りバス代				
領収書又はこれに準ずる書類 貼付欄					

領 収 証

No. 0001257

R5 年 5 月 3 / 日

町野 道明 様

金額	百万	千	円
	4	29	592-

収 入
印 紙但し ☐ バス代金として ☐ ツアー代金として☐ 旅行代金として ☒ その他 (研修会交通費)

上記金額正に領収いたしました

内訳

税抜金額

消費税額 (%)


ごとう観光バス
 Goto kanko bus

 〒509-7201 岐阜県恵那市大井町 2729-401
 TEL 0573-26-1253 FAX 0573-26-1405
 URL: http://510bus.com

取扱者

様式第5号（第5条関係）

領収書貼付用紙

年 度	令和5年度	項 目	調査研究費		
整 理 番 号	1	議員名	町野 道明		
支出の按分の状況	(按分の内容) 食事を除く宿泊費のみ計上 5/16(12,460円－朝食660円－夕食5,500円＝6,300円) 5/17(7,200円；食事を控除済)				
	(按分率) 13,500／19,660＝0.6866	(政務活動費充当額) 13,500円（6,300円＋7,200円）			
領収書の補足説明	5月16日～5月18日行政視察における宿泊代				
領収書又はこれに準ずる書類 貼付欄					

領 収 証

日付 令和5年5月16日

印
紙

御芳名

町野 道明 様

庄原グランドホテル
SHOBARA GRAND HOTEL

金 額 ￥12,460－

〒727-0013
広島県庄原市西本町二丁目16番5号
TEL (0824) 72-6789

上記の金額正に領収致しました。

摘 要 ご宿泊代として
(金額を訂正したものと及び社印取扱者名なきものは無効)

取扱者 富岡

No. 16858-1

領収書

お 名 前 (Name)

RECEIPT

町野 道明

様

予約金・前受金 Advance	クーポン Coupon	クレジット Card
7,200		
売掛金 Credit	ご返金 Repayment	領収額 Receipt
		0

TOYOOKA SKY HOTEL
豊岡スカイホテル
〒668-0024 兵庫県豊岡市寿町9-5
TEL: 0796-22-4411 FAX: 0796-22-4412

発行月日 (Issue)
2023/05/17



(内消費税 ￥654/内軽減税 ￥0)

様式第 4 号(手引き第 4 章関係)

(本人作成書類)

令和 5 年 5 月 15 日

恵那市議会議員
千藤 安雄 様

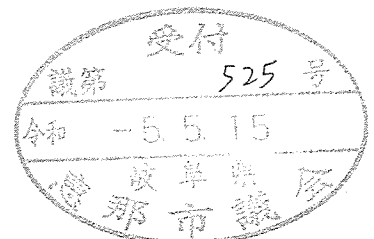
恵那市議会議員 町野 道明

研修・視察等届出書

恵那市議会政務活動費運用の手引きの規定により、研修・視察等届出書を提出します。

記

日程	令和 5 年 5 月 1 6 日 ～令和 5 年 5 月 1 8 日
出張者	鵜飼伸幸、堀 光明、伊藤勝彦、服部紀史、後藤康司、千藤安雄 西尾 努、柘植孝彦、太田敦之、林 貴光、町野道明、山内敏敬 (12名)
用務地	岡山県奈義町 岡山県真庭市 島根県美郷町 兵庫県豊岡市
用務内容	岡山県奈義町...少子化対策「町全体での子育て」 岡山県真庭市...SDGs の取組「里山資本主義」の実践 島根県美郷町...ジビエによるまちおこしの実践「美郷バレー構想」 兵庫県豊岡市...移住定住対策、観光 DX の実践 いずれの視察内容も恵那市の課題であり、今回の視察により、今後の 恵那市の市政や施策並びに事業展開に生かすためのものである。



令和5年5月22日

恵那市議会議長

千藤 安雄 様

恵那市議会 町野 道明

研修視察等報告書

恵那市議会政務活動費の交付に関する規則第4条の規定により、下記のとおり報告します。

記

1 期 間 令和5年5月16日 ～ 令和5年5月18日

2 研修視察先

1日目...岡山県奈義町 「少子化対策～町全体での子育て～」

こども・長寿課 副参事 小坂 正平様

岡山県真庭市 「地方創生応援税制大臣表彰の取組」

・「里山資本主義」真庭の挑戦～SDGsの実践～

・企業版ふるさと納税（人材派遣型）

総合政策部総合政策課 係長 古南 武永様

2日目...島根県美郷町 「ジビエでまちおこしと美郷バレー構想」

美郷バレー課 課長 安田 亮様

3日目...兵庫県豊岡市 「移住定住施策と観光DX～城崎温泉から」

くらし創造部地域づくり課移住定住・若者係 沖中 正孝様

観光文化部観光政策課 課長 宮垣 均様

3 研修視察名

有志議員による、恵那市の課題である少子化対策、獣害対策、観光施策について、先進地域の取組を視察することによって、今後の恵那市の市政及び事業に生かすよう研修を行った。

4 研修視察者

鶴飼伸幸、堀 光明、伊藤勝彦、服部紀史、後藤康司、千藤安雄

西尾 努、柘植孝彦、太田敦之、林 貴光、町野道明、山内敏敬、（12名）

5 概 要

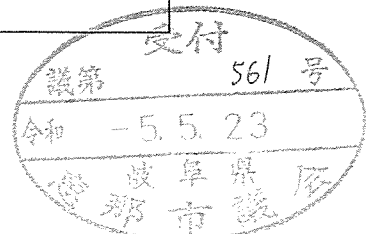
1日目...岡山県奈義町、岡山県真庭市における事業説明

2日目...島根県美郷町における事業説明並びに視察

3日目...兵庫県豊岡市における事業説明

6 効 果

別紙報告書を参照ください。



様式第1号(手引き第3章関係)

(本人作成書類)

令和5年度 恵那市議会政務活動費実施(参加)記録書

議員名 町野 道明

1. 会の名称	恵那市議会 有志(新政会及び無党派議員)
2. 開催日時	令和5年5月16日 13時00分 ～ 14時30分
3. 会場	岡山県奈義町 奈義町役場
4. 参加議員名	鵜飼伸幸、堀 光明、伊藤勝彦、服部紀史、後藤康司、千藤安雄、西尾 努、柘植孝彦、太田敦之、林貴光、町野道明、山内敏敬
5. 参加人数	12人
6. 内容(目的)	恵那市の大きな課題である少子化対策について、町全体で子育てを行い、令和元年の合計特殊出生率「2.95」を実現するという実績をあげている町の取組について視察を行い、恵那市の取組に生かすため。 【説明の内容】 1. 奈義町について 2. 子育て応援宣言 3. 子育て支援施策 ・子育て関連施設 ・しごとコンビニ事業 ・主な経済的支援 ・企業誘致～住宅の整備～

注1 関係書類を添付すること。

注2 事業毎に別様として作成すること。

様式第 1 号(手引き第 3 章関係)

(本人作成書類)

令和 5 年度 恵那市議会政務活動費実施(参加)記録書

議員名 町野 道明

1. 会の名称	恵那市議会 有志(新政会及び無党派議員)
2. 開催日時	令和 5 年 5 月 1 6 日 1 5 時 3 0 分 ~ 1 7 時 0 0 分
3. 会場	真庭市役所 4 階会議室
4. 参加議員名	鶴飼伸幸、堀 光明、伊藤勝彦、服部紀史、後藤康司、千藤安雄、西尾 努、柘植孝彦、太田敦之、林貴光、町野道明、山内敏敬
5. 参加人数	1 2 人
6. 内容(目的)	恵那市が昨年度から取り組んでいる SDGs 未来都市について、以前から森林という地域資源を生かした先進的な取組を行っているから真庭市の SDGs の取組、さらには企業版ふるさと納税(人材派遣型)の取組について、視察を行うことにより、今後の恵那市の事業展開に生かすようにする。 【説明の内容】 1. 真庭市の姿 2. 多彩で循環性のある持続可能なまち 3. 生活しやすく品格のある都市 4. 新たな取組 5. 企業版ふるさと納税(人材派遣型) 6. むすび〜日本の農山村のモデルを目指して〜

注 1 関係書類を添付すること。

注 2 事業毎に別様として作成すること。

様式第1号(手引き第3章関係)

(本人作成書類)

令和5年度 恵那市議会政務活動費実施(参加)記録書

議員名 町野 道明

1. 会の名称	恵那市議会 有志(新政会及び無会派議員)
2. 開催日時	令和5年5月17日 10時00分 ～ 11時30分
3. 会場	みさと館3階多目的室
4. 参加議員名	鵜飼伸幸、堀 光明、伊藤勝彦、服部紀史、後藤康司、千藤安雄、西尾 努、柘植孝彦、太田敦之、林貴光、町野道明、山内敏敬
5. 参加人数	12人
6. 内容(目的)	恵那市の課題の一つである獣害対策と本年度から事業展開が開始される(株)恵那ジビエのブランド化に向けて、最先端の取組を行っている美郷町の取組について視察することによって、今後の恵那市の事業展開に生かすようにする。 【説明の内容】 1. おおち山くじら物語～第1章から第5章～ 2. 美郷町の人口減少対策 3. 美郷バレー構想 【視察】 野生鳥獣の皮革によるクラフト制作

注1 関係書類を添付すること。

注2 事業毎に別様として作成すること。

様式第 1 号(手引き第 3 章関係)

(本人作成書類)

令和 5 年度 恵那市議会政務活動費実施（参加）記録書

議員名 町野 道明

1. 会の名称	恵那市議会 有志(新政会及び無会派議員)
2. 開催日時	令和 5 年 5 月 1 8 日 9 時 3 0 分 ～ 1 0 時 5 5 分
3. 会場	豊岡市役所第 3 委員会室
4. 参加議員名	鵜飼伸幸、堀 光明、伊藤勝彦、服部紀史、後藤康司、千藤安雄、西尾 努、柘植孝彦、太田敦之、林貴光、町野道明、山内敏敬
5. 参加人数	1 2 人
6. 内容（目的）	恵那市の課題である少子化対策、なかでも移住定住施策、さらには本市が力を入れている観光施策について、先進的・特徴的な取組について、視察をすることによって、今後の恵那市の事業展開に生かすようにする。 【説明の内容】 1. 豊岡市の移住定住施策 2. 豊岡市の観光施策 ・ 豊岡観光イノベーション ・ 豊岡観光 DX の取組 ・ 演劇のまちづくり

注 1 関係書類を添付すること。

注 2 事業毎に別様として作成すること。

視察報告書（町野道明）

視察先 岡山県奈義町

目的 出生率 2.95%は全国トップクラスで人口維持のまちづくりを進めている施策及び少子化対策について参考にする。

内容 人口の推移、人口推移のシミュレーション、世代別構成比を行ったところ、奈義町の存続のために「人口減少」は最大の課題であることが浮き彫りになった。

人口減少・少子高齢化の課題を町と町民がしっかりと取り組んで、やっていくしかない。下記の対策が必要。また、人口を維持することの目標を定める。

子育て支援策(産み育てる環境)

具体例 合併について意思を問う住民投票 平成14年12月1日

乳幼児及び児童生徒医療給付事業の拡充開始 平成16年4月1日

出産祝金交付事業開始 平成16年4月1日

不妊治療助成事業開始 平成16年4月1日

高等学校等就学支援金交付事業開始 平成19年4月1日 平成24、26、28、令和2、5年に拡充

なぎチャイルドホーム開設 平成19年4月1日

子育て応援宣言 平成24年4月1日

不育治療助成事業開始 平成24年4月1日

就学育英金開始 平成26年4月1日 令和2年に拡充

在宅育児支援金交付事業開始 平成28年4月1日 令和2年に拡充

しごとコンビニ事業開始 平成29年4月1日

子育て家庭食育支援事業開始 令和2年4月1日

子育て家庭学校教育等支援事業開始 令和4年4月1日

その他

住宅施策(住む環境)

魅力ある教育

就学支の場の確保施策(働く環境)

まとめ

奈義町子育て応援宣言は、10年後も、20年後もその先も、奈義町に幸せな笑顔で暮らしていけるように、そして、子どもたちは次代を担うかけがえのない存在で、奈義町を守り支えてこられたお年寄りとともに、奈義町の大切な宝物として、住めば安心子育てが安心、子育てがしやすいまち、の声が全国に広がっている。家庭、地域、学校、行政みんなが手を携え地域全体で子育てを支えるまちであった。合併せずに単独で行政をやるため、奈義町の存続の危機感の中、どうやってこの町の行政をやるか、子育てをやるか、「弱音をいってはいは、人はこないよ」との町、町民との意思の共通に感銘を受けた。

視察報告書（町野道明）

視察先 岡山県真庭市

目的 森林資源に代表される地域資源を活かした里山資本主義によるSDGsの挑戦の
取り組み事例を参考にする。また、企業版ふるさと納税について参考にする。

内容 里山資本主義の挑戦について

背景

真庭市は、森林面積 65,438 haを有していることから林業、製材業が盛んで、
林業事業者 20 社、原木市場 2 社、3 市場ある。地域資源である森林を活用し、持
続可能な資源循環型の産業と暮らしを実現していく「バイオマス産業」の町を目
指している。地域資源を生かした「回る経済」を確立するため、若手リーダー
の 21 世紀の真庭塾がカギとなった。

21 世紀の真庭塾・・・20 代後半から 40 代の若手社長、経営者や各方面の
リーダー達が自ら活動し自然を背景とする暮らしを未来につなげていく、真庭
の未来をともに考える組織。

具体例

バイオマス産業杜市の推進

- 1 木質バイオマス発電所
- 2 木質バイオマス・リファイナリー
- 3 真庭市産の直行集成板・CLT
- 4 有機廃棄物資源化
- 5 産業観光(バイオマスツアー真庭)

新たな取組 地方創生に向けた「SDGs」の推進

SDGs 未来杜市「真庭」SDGs を市民運！

内容 企業版ふるさと納税について(人材派遣型)

企業版ふるさと納税(人材派遣型)の仕組みを全国で初めて活用し、企業人材の
専門的知見を活かした観光振興に取り組んでいる。また、地域性を生かした民間
との連携事業を展開している。

具体例 「里山資本主義」真庭の挑戦 \$ 企業版ふるさと納税(人材派遣型)の活用

真庭市産の CLT(直行集成板)を活用して、持続可能な循環型社会を発信する
観光文化発信拠点「GREENable HIRUZEN」をオープンした。

寄附企業 三菱地所(株) 両備ホールディングス(株)

まとめ 中山間地の地域戦略として山はお荷物を、逆転の発想で地上資源の宝庫として、
エネルギーに変革、エネルギー自給に転換する取り組みが「回る経済」に担って
いた。特に雇用、産業、観光事業の創出を実現している。根底には、市民一人ひ
とりの幸背の実現「真庭ライフスタイル」の実現が行政の目的となっていた。

視察報告書（町野道明）

視察先 島根県美郷町

目的 鳥獣被害対策について、特にイノシシは全国でも先駆けて「地域住民が一丸となり、あの手この手の自助努力の取り組みを参考にする。また、当市の恵那ジビエのブランド化への参考にする。

内容 美郷町のイノシシ対策は1999年から今日に至る24年間の取り組みであり、歳月とともに5章までの取り組みへと進化。

1章（点） 獣害対策の抜本的改革 1999年

2章（線） 夏イノシシ資源利活用

3章（面） 地域づくり・コミュニティービジネス

・1章から3章は内発的な取り組み

4章 定住・雇用・ローカルビジネス

・4章 共発的取組

・は1章から4章は人に焦点をあてた取り組み 人間模様

獣害対策＝人対策 ☒ 人おこし、地域おこし

5章 美郷バレー構想 2019年

獣害対策の基本理念を共有する町外の力を呼び込み、町の新たな力に変えていく環境づくりを展開

具体的な取り組み

1章 イノシシ等の獣害対策を地元猟友会に依存した体制から改めて、被害者である農家や自治会関係者等の住民を主体とした駆除班に再編成する。住民の組織に変わることで、主体性を持って自らの農地を守るという意識が促される。

2章 イノシシの駆除期間は3月から10月までだが、夏のイノシシは、価値がないのかこれを確かめ、夏のイノシシの商品価値を高める。

3章 野生動物から農作物を守るいい圃場「青空〇サロン」「青空サロン市場」の運営を地元のお母さんたち農村女性に任せる。また、イノシシのなめし皮を使う創作グループも誕生し、人と人、人と地域、人と暮らしの絆ができる。

4章 2004年におおち山くしら生産者組合が設立。その後10年経過し、地域

おこし協力隊を迎え(株)クイージが支店を開設、その後それを引き継ぎ、(株)おおち山くじらに、現在に至る。その期間、定住・雇用・ローカルビジネス

が生まれた。

5 章 鳥獣害対策と住民の取組に関しては島根県美郷町に行けば、新しい技術や情報が入り、人脈も広がるという思いから、産官学民が自発的に集い、お互いが刺激し合って地域活性化の革新につなげていく環境の場「美郷バレー」を構築する。

産 (株)おおち山くじら、(株)クイージ、(株)テザック、タイガー(株)
古河電工(株)

官 大磯町、津市、丹波篠山市

学 麻布大学、麻布大学フィールドワークセンター、(株)BO・GA

民 特定非営利活動法人 里地里山問題研究所

まとめ 美郷町はイノシシによる農作物の被害に悩まされ続けている中で、イノシシの駆除を住民が行うことから、イノシシを獣害ではなく、貴重な資源として取り組み、24 年間という時間の物語は、全国でも模範となる全国一番の取り組みで、日本をリードし、世界へもつながる美郷町の成果だと感じました。人口が少ない町でこのような、注目をあびることはすばらしい。当市のジビエのブランド化に視点を合わせていく。

視察報告書（町野道明）

視察先 兵庫県豊岡市

目的 人口推移のシミュレーションや、世代別構成比、を行う中で人口減少の施策も含み、豊岡市の移住定住の支援策の充実を参考にする。また、観光施策について、先進的な事例と特殊的な取り組みを参考にする。

内容 移住定住施策

- 1 市に移住を目的に訪問した方に、宿泊費用、航空運賃、レンタカー費用の一部を補助する。
- 2 移住者が行う住宅改修、引越し等にかかる費用、所有者が行う空き家の清掃費用の一部を補助する。
- 3 豊岡市へ移住した方に「コウノトリ育む魔法の無農薬米 10kg」をプレゼント

具体例 1は、補助額・予算の範囲内で対象経費 10 分の 10、

補助限度額・宿泊補助 大人(13 歳以上) 1 人 1 泊 2,000 円

子ども(12 歳以下) 1 人 1 泊 1,000 円

1 人につき 1 年あたり 4 泊まで

航空運賃補助 1 人片道 4,000 円

(他の制度による運賃補助を抜いた額の範囲内)

1 人につき 1 年度当たり 4 回分まで

伊丹-但馬空港間を利用した場合のみ対象

レンタカー代補助 1 日 3,000 円

1 世帯につき 1 年度当たり 6 日分まで

2は、住宅の改修に係る支援

WEBサイトに登録されている協力不動産業者の仲介によって購入又は賃借するにあたり、当該住宅等に要する費用の一部を補助する。

対象経費の 3 分の 2 以内、100 万円を限度

引越にに係る支援

市内の住宅等への入居に係る引越費用

対象経費の 10 分の 10 以内、20 万円を限度

空き家の清掃に係る支援

対象経費の 10 分の 10 以内、10 万円を限度

3は、プレゼント

まとめ 1 は、やや斬新な取り組みであり、下見や観光の要因がある施策であると感じた。

- 2 は、協力不動産業者の存在がキーマンである。改修工事事業者等、の予算や選定に大きな役割を持っている。

内容 観光施策について

観光まちづくりの観点から、当該地域の関係者の力を結集し、顧客視点に立ち、地域の魅力を再編集して、地域の稼ぐ力を引き出し、地域経済の活性化に寄与するため、観光地のマーケティングを進める。具体的には、来訪者を増やす、滞在日数を増やす、消費額を増やす、観光まちづくりの参加者を増やす。を目的にしている。

具体例 誘客・周遊に取り組む

1 海外プロモーションを行う。

- ・メディア戦略を行う
海外R E P、メディア取材対応をする。
- ・WEBマーケティングを行う
広告運用、サイト改善、コンテンツ追加をする。
- ・SNSマーケティングを行う
- ・広域連携を行う
- ・来訪者アンケートを行う
※外国人観光客8年で57倍の伸びとなる。

2 国内プロモーションを行う

- ・WEBマーケティング(観光総合サイト)を行う
広告運用、サイト改善、コンテンツ追加、キャンペーンをする。
- ・WEBアプリマーケティングを行う
- ・SNSマーケティングを行う
- ・来訪者アンケートを行う
- ・問い合わせ対応(一般消費者、旅行会社)を行う

3 周遊促進・観光協会連携(周遊促進会議)を行う

※ 2、3 で豊岡が持つ、自然、温泉、歴史、伝統、食、文化がブランド化となる。

具体例 DX・受入に関する

1 データ収集・分析／観光DX推進を行う

- ・OTAデータ分析を行う
- ・観光DX基盤データ分析を行う
- ・観光DX基盤の整備・改善をする。
- ・宿泊施設のコンサルティングをする。

2 商品開発・受入環境整備を行う

- ・商品開発と販売管理を行う

- 宿泊プラン(VK)をする。
- 体験プログラム(VK)をする。
- ネオカルプログラムをする
- ふるさと納税返礼品をする。
- インバウンド高付加価値ツアーをする。
- 演劇祭ツアーをする。
- アグリクーポンをする。
- ・旅行会社営業を行う
 - 海外商談会(高付加価値旅行者に特化)をする。
 - 海外AGT FAM(高付加価値旅行者に特化)をする。
- ・受入整備を行う
 - ローカルガイド養成をする。

※ 豊岡観光DX基盤+CRM機能の確立によりリピーターが増加する。

まとめ 観光DXの活用は、2022年豊岡観光DX推進協議会が設立され、旅館組合、市内観光協会、塩崎温泉旅館組合、豊岡市、豊岡観光イノベーション事務局をはじめ、マーケティングアドバイザーとして、専門大学、開発会社し地元企業との連携の協働会員により取り組みは大きな成果と交流人口、関係人口、来訪者が著しく増加していた。さらにデータの情報をそれぞれの立場で出し合い、協議をし、地域全体で活用して共存共栄の意識が高く、つねに向上心が宿っていると感じた。